

1 基本情報

予算中事業コード	20	予算小事業コード	05	事業名	花と緑のたかつ推進事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	菅原	連絡先	044-861-3134
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	都市化によりまちの緑が減少している中、潤いのある空間を創出し、市民協働で花と緑のまちづくりを推進する。
事業概要	区内に潤いのある空間を創出するため、市民主体による花と緑のまちづくりの推進を図ることを目的とし、次の内容を実施する。 (1) 区内各所に設置したコンテナ・花壇の維持管理を市民協働で実施する。 (2) 水仙(区の花)の球根の配布を実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,936,000	決算額	1,675,109	不用額	260,891
不用の理由	各コンテナ・花壇の維持管理費が予定よりも少額となったため。				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内に潤いと安らぎを提供するため、花と緑のまちづくりを推進する。</li> <li>●この事業に対する認知度が上がることで、この事業の取組みに新たな区民の参加が増えることを目標とする。</li> </ul>				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1) 区内各所に設置したコンテナ・花壇の維持管理 ●コンテナの維持管理について、各施設へ必要性や効果の調査を行い、手法の変更について検討していく。 ●「エコシティたかつ」推進方針、溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画との調整・連携をさらに強化する。 (2) 水仙(区の花)の球根の配布 配布地区 2→5 これまで、高津地区から1地区、橋地区から1地区を選定していたが、配布地区を5地区に増やし、さらに、広く一般の区民が楽しむことができる場所に植えることを条件として全町会へ募集を行う。				
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存のコンテナや花壇の維持管理について、行政と団体との間の事業の取り組み方に関する意識の差が課題となっている。維持管理を継続しながら、区民の参加と協働による花と緑のまちづくり推進をどのように進めていくか、さらなる検討が必要。</li> <li>●既存のコンテナや花壇は区内公共施設や行政管理の場所のみとなっているため、それ以外の場所で個別に活動している団体への支援をどのように行なうかが課題となっている。</li> </ul>				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内各所にコンテナ・花壇の維持管理 【委託先】「区民ミニ・ガーデン」運営委員会 コンテナや花壇の植栽から管理まで安定的に活動が行われてた。</li> <li>●キラリデッキ花壇植栽体験 11/13(日)10:00~11:00 溝口駅キラリデッキ 晴れ 親子13名</li> <li>●水仙の球根の配布 町内会：梶ヶ谷2丁目町内会、前田団地自治会 保育園：区内公立保育園全園</li> </ul>				
協働の視点	コンテナや花壇の維持管理等については、行政が事務局として外部との連絡調整やイベント・加入者募集等の広報を行い、日々の維持管理を「区民ミニ・ガーデン」のメンバーが行っている。また、水仙の球根の配布については、行政が球根の購入・配布を行い、選定された2地区の町会が植栽・維持管理を行っており、共に協働の視点を取り入れている。				
環境配慮への視点	事業内容自体が、環境に配慮した取組みとなっている。				
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンテナ・花壇の維持管理は、手法の見直しし、団体への委託内容の見直しを行った(コンテナ設置施設の縮小(8→3)。また、久地橋大塚花壇・キラリデッキ花壇の管理は、道路公園センターへの所管変更が決定した。</li> <li>●水仙の球根は配布する町内会を増加する予定であったが、実施団体と協議等をした結果、新たな場所へ配布することとし、区内公立保育園全園への配布を実施した。これにより、異なる角度からのアピールに繋がったと考えられる。</li> </ul>				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	今年度は、主に区内各所に設置しているコンテナ・花壇の維持管理の実施手法の改善に取組み、新たな事業展開の第一歩となった。今後は、区民との協働により継続しながら、関係部署との連携を強化し、事業全体の実施手法の検討を行うことにより、より効果的な取組みとなるようにする。 水仙の球根配布についても、実施手法等を検証しながら、見直し・改善の上、実施していく。

# 平成23年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	20	予算小事業コード	10	事業名	高津区環境まちづくり普及啓発事業費		
事業所管課	地域振興課			担当者	中村	連絡先	044-861-3144
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	「エコシティたかつ」推進方針に基づいた区民への環境まちづくりに関する普及啓発
事業概要	環境に関する区民意識の醸成及び行動の促進を図るため、緑のカーテンなど環境への取組の中で優れた活動を表彰するエコ・エネライフコンクールや区役所庁舎の「エコシティホール」化を行う。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	2,408,000	決算額	1,886,745	不用額	521,255
不用の理由	契約差金				
事業目標	区役所庁内を「エコシティホール」と位置付け、各種の環境技術の実践を示し、来庁者の環境教育の場とする。また、緑のカーテンなど環境への取組の中、優れた活動を表彰するエコ・エネライフコンクールを行い、表彰式等を通じて区民の環境に関する意識を高める。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコシティホール」化推進のため次の取組みを行う。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 可動式細冷ミストシステムの設置</li> <li>(2) 区役所駐車場(一部)の遮熱舗装の施工</li> <li>(3) 雨水利用促進のための雨水配管等の補修工事により、雨水樽等の設置</li> </ol> </li> <li>●エコ・エネライフコンクールを実施する。</li> </ul>				
事業目標を達成する上での課題等	エコ・エネライフコンクールへの参加者の募集及び募集内容(部門)について				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコシティホール」化については、次のとおり実施した。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 可動式細冷ミストシステムの設置 7月21日～9月20日の2ヶ月間、高津区役所総合庁舎及び高津スポーツセンターに設置した。</li> <li>(2) 区役所駐車場(一部)の遮熱舗装の施工 8月に区役所駐車場へ施工した。</li> <li>(3) 雨水利用促進のための雨水配管等の補修工事 8月に雨水配管等の補修工事に伴い、雨水樽等を設置した。</li> </ol> </li> <li>●エコ・エネライフコンクール 8月から9月末まで募集(25組の応募)をし、2月に表彰式(約50名の参加)を実施した。</li> </ul>				
協働の視点	エコ・エネライフコンクールは、「エコシティたかつ」推進会議と高津区役所が共催すると共に、協賛企業を募って実施した。また、区内企業からコンクールの審査員の選出及び、表彰式にて講演していただいた。				
環境配慮への視点	事業自体が環境に配慮した取組みとなっている。				
取組の成果	<p>「エコシティホール」化については、7月21日～9月20日の2ヶ月間、高津区役所総合庁舎と高津スポーツセンターに可動式細冷ミストシステムを設置し、来庁者等へ打ち水効果の気化熱作用による冷却を体感していただいた。また、区役所駐車場への遮熱舗装を施工し、サーモグラフィーによる計測結果、温度が低くなっていた。さらに、雨水樽等の設置により、雨水を活用した打ち水、植栽への水やりを実施した。エコ・エネライフコンクールは、延べ25組の応募と15社の協賛があり、表彰式には約50名の参加があり、区民への環境に関する意識を高めることに寄与した。</p>				
	達成度				
	3				

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	引き続き、「エコシティホール」化やエコ・エネライフコンクールを通じて、環境の普及及び啓発を行っていくが、エコ・エネライフコンクールでは、参加者が減少する傾向があるため、取組み手法や内容等を見直しして実施する。

# 平成23年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	20	予算小事業コード	15	事業名	高津区民祭大山街道美化推進事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	中村	連絡先	044-861-3144
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	川崎市では、イベントのゴミの抑制は、平成19年度から環境局が取組みを始めているが当区民祭では、実施しておらず、美観推進及び環境配慮への取組みが必要である。
事業概要	高津区民祭から出るゴミの減量及び適正排出(分別)による資源の再利用を推進し、環境意識の向上を図るとともに区の貴重な地域資源である大山街道の美化推進への区民の意識を高める。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	394,000	決算額	0	不用額	394,000
不用の理由	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業も中止となったため。				
事業目標	高津区民祭から出るゴミの減量及び適正排出(分別)による資源の再利用を推進し、環境意識の向上を図るとともに大山街道の美化推進への区民の意識を高める。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	美化推進委員、廃棄物減量指導員、地元大学生、高津青年会議及び高津区役所が連携し、3R(リデュース[発生・排出抑制]、リユース[再使用]、リサイクル[再生利用])を基調とした課題を検討して区民祭実行委員会へ提案し、取組む。				
事業目標を達成する上での課題等	様々な主体と連携して事業を行うため、調整に労力を要する。				
実績	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業も中止となった。				
協働の視点	美化推進委員、廃棄物減量指導員、地元大学生、高津青年会議及び高津区役所が連携して明確な役割分担の下、事業実施していく。				
環境配慮への視点	事業自体が環境に配慮した取組みとなっている。				
取組の成果	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業も中止となった。				達成度
					-

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	高津区民祭が開催した際には、排出されるゴミの減量及び適正排出(分別)による資源の再利用を推進し、環境意識の向上を図るとともに大山街道の美化推進への区民の意識を高めていく。

1 基本情報

予算中事業コード	20	予算小事業コード	20	事業名	「エコシティたかつ」推進事業		
事業所管課	企画課			担当者	久保	連絡先	64121
関係局(局区連携事業は記載)		環境局・教育委員会・建設緑政局					

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<p>1 環境を大切にすることを育み、生活様式の変革を促すことで、「生活の質」を向上させ、豊かな市民生活の実現、新たな文化・価値創造をめざす。</p> <p>2 水系や流域、丘陵、崖線、谷戸などのランドスケープを重視し、生命の脈い豊かな自然共生型の都市再生を、地域から推進する。</p> <p>3 局地的豪雨や台風の巨大化等による洪水など、気候変動によって増大すると予想される災害に適応しうる流域視野の地域の地形や水循環の特性に即した「水災害適応型都市」づくりを推進する。</p>
事業概要	<p>1 短期の12のプロジェクトのうち、学校流域プロジェクトなど継続すべきものについては継続実施する。</p> <p>2 中期のプロジェクト案について、「エコシティたかつ」推進会議等での検討を受けて、関係各局と調整し、実施するプロジェクト案を決定し取り組む。</p> <p>&lt;&lt;中期のプロジェクト案&gt;&gt;</p> <p>●小さな循環・生ごみリサイクルシステムの構築●行政区レベルでの環境マネジメントの実践的な取組●円筒分水、かすみ堤を活かした「緑の回廊」づくりの推進●複合型氾濫マップ(ハザードマップ)の協働作成、●多摩川崖線の緑の保全・回復・育成を旨とした市民協働の取組●仮称「たかつ地域水循環計画」の検討●仮称「たかつ自然の脈いづくり計画」の検討●水の道調査に基づく復元水系図の作成</p>

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	5,581,000	決算額	5,577,689	不用額	3,311
不用の理由	契約差金				
事業目標	短期の12のプロジェクトのうち、「学校流域プロジェクト」など継続すべきものについては継続実施する。また、上記「事業概要」において記載した中期プロジェクト案のうち、実施することになったものを実施する。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	「学校流域プロジェクト」は、昨年度より学習支援の継続希望校への学習支援を実施し、また新たに1校のピオトープ整備を行う。中期プロジェクトについては、「エコシティたかつ」推進会議等での検討を受けて、関係各局と調整し、取り組む。				
事業目標を達成する上での課題等	「学校流域プロジェクト」については、学校との連絡調整が課題である。また、「エコシティたかつ」推進事業については、「エコシティたかつ」推進会議の適正な運営及び中期的なプロジェクトの企画・調整が課題である。				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校流域プロジェクト」は、継続希望校への学習支援を行い、さらに新規に1校(橋小)へ学習支援を行った。また、1校(橋小)のピオトープ整備を行った。(委託先:特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク)</li> <li>中期プロジェクトである「たかつの自然の脈いづくり事業」は、高津区市民健康の森にてモデル実施した。</li> <li>「エコシティたかつ」推進会議を2回、「エコシティたかつ」推進フォーラムを開催した。(委託先:(株)石塚計画デザイン事務所)</li> </ul>				
協働の視点	事業実施のNPOとは、協働型事業のルールの基本的な考え方を踏まえて実施した。学校との協働については、授業実施前に打合せを重ね、「エコシティたかつ」の理念等を十分に説明し、さらに学校側の不安を取り除いた上で実施した。「たかつの自然の脈いづくり事業」では、地域活動団体や公募による市民の参加を呼びかけて、事業を実施した。				
環境配慮への視点	当事業は、環境の視点からまちづくりを推進する事業であるため、それ自体が環境への配慮の実践である。				
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校流域プロジェクト」は、7校の学習支援を行い、新たに1校のピオトープ整備を行った。なお、新たに学習支援する場合は、ピオトープについて理解を深める授業を前段で行うなど効果的に実施した。また、学校の教職員に「学校流域プロジェクト」の理念等を伝えるため、教職員向け研修会を実施した。</li> <li>「たかつの自然の脈いづくり事業」は、高津区市民健康の森を舞台に、市民協働で、調査活動及び手入れ作業のモデル実施をした。</li> <li>「エコシティたかつ」推進会議を2回開催し、各プロジェクトの推進状況の確認や推進方法について検討すると共に、次年度以降の推進体制についても検討した。また、「エコシティたかつ」推進フォーラムを開催し、今年度の活動報告、「学校流域プロジェクト」及び「たかつの自然の脈いづくり事業」の関係者を踏まえたパネルディスカッションを実施し、これらのプロジェクトの紹介及び今後の展望等を共有した。</li> </ul>				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校流域プロジェクト」は、区内15小学校全校での実施を目指し継続していく。また、マニュアル等を活用し、教員向けの研修及び学校間の情報交換の場の設定に取り組んでいく。さらに、教職員及び児童、地域住民等が主体となった学校ピオトープの維持・管理体制について検討を開始する。</li> <li>「たかつの自然の脈いづくり事業」は、モデル実施の成果を踏まえて、事業の構築及び展開を図っていく。</li> <li>節電取組は、現在の取組を維持しつつ、今後の電力需給の動向を注視及び本市の対策基本方針等に基づき、随時、検討していく。</li> </ul>